

恋の行方

首藤 静夫

大分市の高崎山で昨年夏、初めて女帝が誕生した。通常、群れのボスはオスという猿の社会では大変珍しいそうだ。

今回誕生した女帝の名はヤケイ。高崎山に二つある群れの大きい方のボスとなった。最初は大人しい猿だったそうだ。ところが二位のオスに求愛されているうちに様子が変わった。先ず母猿と大喧嘩の末、母からメス頭の座を奪った。まもなくして群れのボスと雌雄対決し、これを制してトップの座に就いた。

目下就任後約半年。女帝には若い恋人ができたようだ。オスの五位が言い寄ってくるが、それには気がなく、六位に秋波を送っているという。トップに君臨して日が浅いが、すでに恋に憂き身をやつしているのだろうか。

高崎山には少し前にベンツという有名なボスがいた。若くして一群のボスになったが他群のメスに恋をして仕事をおざなりにし、自分の群れから追放された。恋人のいる他の群れに移って最下位からやり直し、やがてその群れのボスとなった。すごい実力といわねばならない。この猿園では時々思わぬエピソードがある。

ヤケイはボス就任前、尻尾を立ててオスのように振る舞い、枝を大揺すりし、一旦スイッチが入ると手がつけられなかった（地元新聞）。その彼女が部下のオスに恋している。最近の報道では、山に籠もりきりで餌場に現れないのだと。山奥に別の愛人を作ったのではとの憶測まで飛び出す始末。とにかく連絡が取れないで職員さんは困っている。千匹以上の猿を、序列づけから恋の行方まで職員さんは大変なのだ。

シャーロットという名のお嬢さん猿もいる。英国の王女と同じ日に生まれたため、あやかつて名付けられた人気者だ。彼女の将来も楽しみだ。もしかするとエリザベス女帝に大化けするかもしれない。

女帝といえば奈良時代末期、男狂いした帝がいた。どうせ後世の作り話であろうが。女帝はその相手に帝位を譲ることまで考えたという。フアナティックなヤケイがどうなるか、目が離せない。